

平成 27 年度 第 1 回環境水理部会 議事メモ

日時：9月18日（金）12：00～13：00

場所：岡山大学 大学会館2階第2会議室（第70回土木学会年次学術講演会）

出席者：赤松（山口大）、井上（港空研）、梅田（東北大）、大石（土研、□）、大槻（東理大）、大橋（玉野コン）、櫻井（土研）、鈴木（電中研）、田井（九大）、田代（名大、□）、都築（リバフロ）、鶴田（建技研）、宮本（芝工大、◎）、矢島（鳥取大、○）、矢野（九大）（以上15名。敬称略。五十音順。◎部会長、○副部会長、□幹事）

1. 報告事項

1) 水工学委員会報告

- 夏季研修会、水シンポジウム in 福井（8/27-28 部会ポスター提出）、全国大会などのイベント参画状況について報告があった。
- 平成27年度水工学講演会（第60回）、平成28年度水工学講演会（第61回）がそれぞれ、東北工業大学、九州大学で開催される旨、紹介があった。
- 平成28年度夏季研修会が秋田大学にて開催される旨、紹介があった。
- ISE 2018 が東京で開催される旨、情報提供があった。
- 河川技術シンポジウム（河川部会）に新たな賞が設定される旨、紹介された。

2) 環境水理部会活動報告

- 昨年度研究集会（5/18-19、京都）について開催報告があった。
- 動的総合土砂管理 WG in 耳川（6/23）について開催報告があった。
- 「河砂技術基準・調査編」意見交換会（応用生態工学会大会（9/10、郡山）の自由集会）について、応用生態工学会との共同で実施された旨、報告があった（部会から宮本部会長、矢島副部会長が出席、赤松委員は欠席）。次回は水工学講演会（東北工業大）で実施予定とのこと。実務技術者の方々にも加わっていただきたいとする提案があり、大橋委員（玉野コン）に参加いただくこととなった。

2. 審議事項

1) メンバーの確認

- 井芹元会長、角前会長のオブザーバー移行、藤野委員（埼大）の退任が承認された。
- 部会委員候補者3名（大槻順朗氏（東理大）、田井明氏（九大）、鶴田舞氏（土研））、オブザーバー候補者4名（赤堀良介氏（愛工大）、小林草平氏（京大）、乾隆帝氏（山口大）、細川真也氏（港空研））の新規加入が承認された。
- これまでの活動継続のため、以下の役職等の提案がなされ、承認された。

沿環連協議会・・・横山委員(継続), 二瓶オブザーバー(継続)

河川部会交流委員・・・赤松委員 (重枝委員から変更)

HP 担当・・・斎田委員 (継続), 大槻委員 (田代委員から変更)

2) 研究集会

- 次年度第 19 回は香川で実施する方針について承認された。今後、石塚委員を担当幹事とし、次回の部会に向けて調整・準備を進めることとなった。

3) ワーキンググループの活動

- 閉鎖性水域 WG(矢島主査):見学会と情報交換会を実施する方針について紹介があり、継続が承認された。
- 動的総合土砂管理 WG (竹林主査): 前述のような見学会などを通じた活動について継続要望があり、承認された。
- 樹林化 WG (宮本主査): 河川部会 (戸田副部会長) との連携状況について紹介があった。宮本主査 (部会長) が中心となって取りまとめに向けて活動していく方針が示され、承認された。
- 新規 WG 提案 1「教科書英文化 WG」: 矢野委員より、別紙に基づいて留学生教育や英語講義への対応を目的とし、従前の教科書 WG をベースに、出版形態を含めて検討する構想が示された。日本語版教科書の販売状況への影響、著作権の所在などについて指摘があった。審議の結果、原則承認も方針・内容については、執行部での調整を経て委員に周知することとなった。
- 新規 WG 提案 2: 矢野委員より、別紙に基づいて「温暖化適応 WG」について趣旨説明がなされた。温暖化に対する適応・緩和策が水環境に及ぼす影響を扱い、研究プロジェクト化を目指す。当面、年間 2~3 回の勉強会・WS を積み重ね、3 年次程度を目途にシンポジウムを開催する方針が示された。審議の結果、新規 WG として承認され、追って矢野委員より、メンバー募集の連絡がなされることとなった。

3. その他

1) 2015 研究集会 in 京都の参加証配布

- 本年度集会にて、CPD プログラム認定のための参加証が未配布だったことについて指摘があった。後日、執行部から連絡周知し、必要に応じた調整を図ることとなった。

2) 今後のスケジュール

- 次回の部会は、3 月の水工学講演会時に実施(二日目か三日目)する方針が確認された。
- 次年度研究集会 (香川開催) は、5・6 月実施の方向で調整することとなった。

(以上)